

生活困窮世帯への学習支援「MESC 倶楽部(塾)」

ケアリング・ソサエティ（支え合う社会）をめざして



2017年12月1日
特定非営利活動法人みやざき教育支援協議会

Tel/fax 0985-41-4451 info@npomesc.jp

始めたきっかけは？

ICTスキルアップ講座をやるなかで、宮崎市福祉課より生活保護家庭の通信制高校生の支援を依頼され、2015年から生活困窮世帯への学習支援を始めた。

塾生募集やアウトリーチ（家庭訪問）は？

チラシやHPで案内。宮崎市福祉課、スクールソーシャルワーカー、若者サポステなどからの相談受入れ。アウトリーチは行っていない。

どんなことに気をつけていますか？

1. ことばかけ（日常的な挨拶、会話 → まずは人権意識と人間関係づくり）
2. 意思表示を待つ（無理強いしない → 待ちの姿勢、説明する力を培うため）
3. 話を聞く（体験、苦悩、興味 → 支援内容を探る、共感と賞賛を心掛ける）
4. 地域づくりとネットワーク（地域扶助が理想 → 様々な団体・組織との連携）

どんなふうに教えていますか？

1. 何度でもやり直せる学習（年齢、内容、期間を制限しない）
2. パソコン・タブレットなどを使った学習（動画・eラーニングなど）他
3. 将来の姿をイメージさせる学習（具体的事例、ワークショップ、生活体験など）

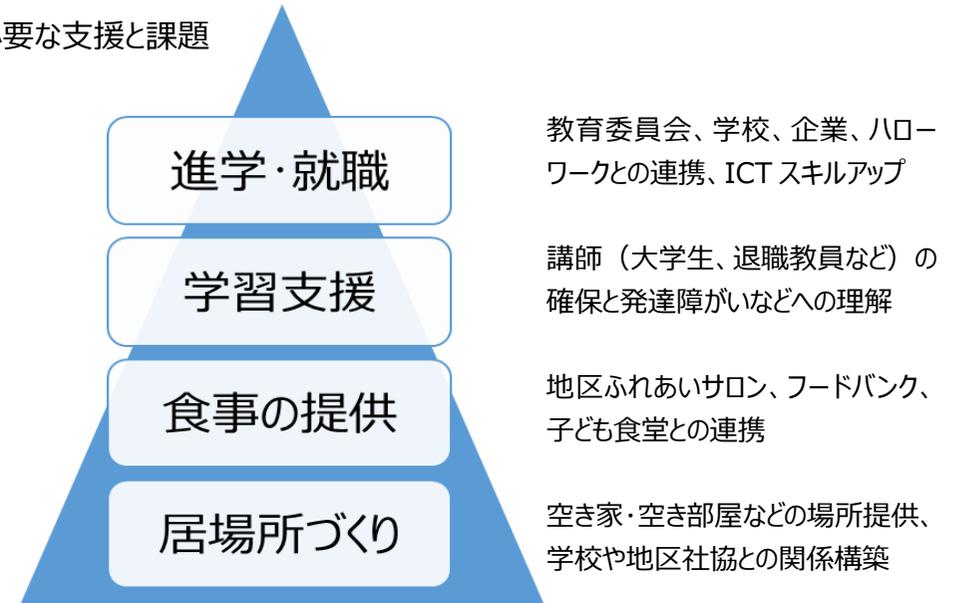
いつ、どこで、だれが行っているのですか？

1. 日時：月～土13時～18時で週2時間（現在、13～30歳代まで14名）
2. 場所：宮崎県福祉総合センター、南駅前ふれあいサロンの2ヶ所
3. 対象：特に制限しない（レッテル貼りに注意、引きこもり、発達障がいが多い）
4. 講師：退職教職員、会員、IT技術者（プロボノ会員）、受講生

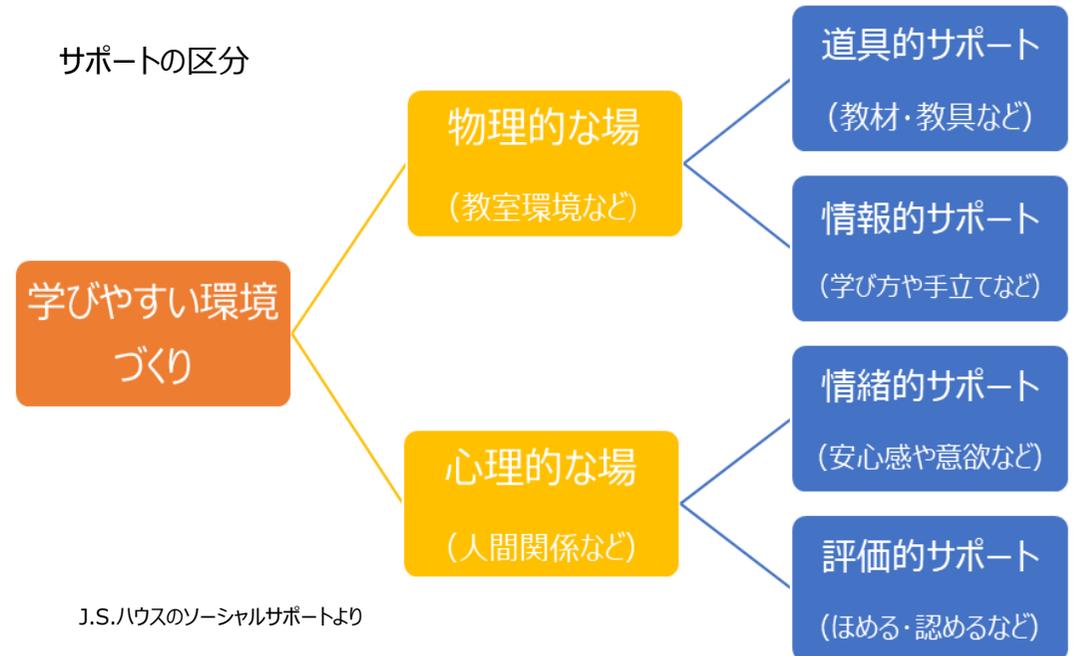
予算やコストは？

1. 収益：ワンコイン（1時間500円）免除あり、各種助成金、寄付など
2. 支出：会場賃貸料、テキスト代、講師謝金、広報チラシ代、保険代など

必要な支援と課題



サポートの区分



J.S.ハウスのソーシャルサポートより